

提供日 2014/12/
タイトル グランシップ伝統普及プログラム「触れてみよう能楽師」
担当 公益財団法人静岡県文化財団 事業課
連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団
記者提供資料

**「グランシップ伝統芸能普及プログラム」大学連携事業
静岡大学教育学部にて「触れてみよう能楽師」を行います。
～音楽教員を目指す学生が一流の能楽師から直接学び、邦楽教育の実践に生かす～**

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成22年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して能楽を中心とした日本の伝統芸能を普及する取り組みを実施しています。今回は静岡大学教育学部の学生が、一流の能楽師からその魅力や特徴などのレクチャーを受け、日本文化や邦楽等についての実践授業を学校現場で行うまでのプログラムを実施します。

2 概要

区分	内容
公演名	グランシップ伝統芸能普及プログラム大学連携事業「触れてみよう能楽師」
日時	平成26年12月13日（土）10:00～15:00
会場	静岡大学 大学会館2階ホール（静岡市駿河区大谷836）
講師	大倉源次郎（大倉流小鼓方十六世宗家） 坂井音隆（観世流シテ方）、小野寺竜一（一噌流笛方）
受講生	静岡大学教育学部3年生 30名（ピアノ専攻、声楽専攻、音楽教育専攻）
実施内容	・大倉流小鼓方十六世宗家大倉源次郎氏を中心に、能楽の基礎の解説と、静岡にもゆかりのある能「羽衣」についての世界観や背景を学ぶ。また能の謡や小鼓の体験、唱歌を使い、西洋音楽の譜面や知識とは違う伝達方法を体験。（10:00～12:00） ・学校教育で能楽についての授業を想定し、生徒・指導者両方の立場を体験、課題を見つける。（12:50～15:00）
目的・特徴	現在、学校教育の指導要領で邦楽等の授業について記載されています。その一方、多くの学生や教員が伝統芸能や能楽といったものの直接的な体験をしていないのも現状です。当財団ではこういった日本の芸術を各地域や機関へ紹介し、能楽という舞台芸術だけでなく、能楽師という“芸術家・その人”と触れ合うプログラムを各機関の実情に沿った内容で、個別に設定しています。 今回は将来音楽教員を目指す学生にその魅力などを伝え、 <u>来年1月28日に静岡大学教育学部附属静岡小学校にて学生自らが能楽の授業を実施するまでをバックアップします。</u>
主催	公益財団法人静岡県文化財団

※「グランシップ伝統芸能普及プログラム」とは

数ある伝統芸能の中から能楽を取り上げ、伝統芸能の芸術の魅力とともに演者の人としての魅力を伝えることに重点を置き、舞台上の技術のみならず、現在の社会や日常生活に有用な社会資源である芸術家の物事に対する姿勢、考え方、経験等を伝達するプログラム。

3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：（公財）静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714（担当：法月、渡邊）

*当日の連絡先：090-4187-7049（渡邊）

